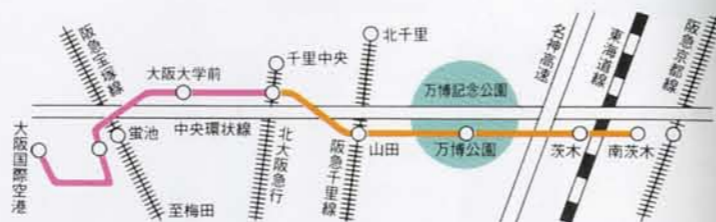


65年(千里中央~南茨木間)開業予定、大阪モノレールレポート



大阪都市圏の発展のため、中央環状鉄道建設構想に基づき、57年度から大阪府と大阪高速鉄道株式会社が65年3月部分開業を目指し、いま建設が急ピッチで進められています。全線が完成すると沿線在住者にとって通勤、通学、空港や万博公園へ行くのが大変便利になるというもの。このところ市民の期待も盛り上がっています。21世紀の大阪にふさわしい“夢とロマン”を乗せて走るモノレール。インタビューを行なった、ちびっ子の好奇心を大いにシゲキしたようです。今回は第一線でモノレール建設・推進にあたっておられる方々にお話を聞きました。



大阪府土木部都市整備局交通政策課
主幹 中本正明



大阪府北部特定事業建設事務所
モノレール建設事務所
所長 茂岡一政

どうしてモノレールという名まえがついたのですか

中本 普通の鉄道のレールは2本ですね。でも、モノレールのレールは1本。つまり、“モノ”というのは英語で“1”のことですから、1本のレールという意味でモノレールという名前がついたのです。1本レールだけでも、すごく丈夫な鉄筋コンクリートのレールだからとても安全なんですよ。

モノレールが始めて走った国と年代は?

茂岡 モノレールの歴史は意外と古く、1820年初めに考案されました。実際に動いたのは1824年、イギリスのヘンリー・パルマという人がロンドンの岸壁に貨物輸送として使用しました。この頃は電気がない時代ですから、木材のレールの上を馬が引っ張っていたのです。お客を乗せて走った最初のモノレールは、1878年、アメリカのペンシルバニアで約9kmの区間を。このとき動力は蒸気でした。モノレールは安全な構造だということで100年も

前から考えられていたのです。日本では昭和37年、愛知県犬山市の1.4kmが初めてです。現在動いているモノレールは東京、北九州、湘南の3ヶ所です。それに千葉県に近々開通予定があり、大阪はそのあとで5番目になります。

高いところを走ると風の強い日など、飛ばされたりすることはありませんか

茂岡 モノレールの柱(橋脚)やレールは頑丈な基礎を打ち込んで、がっちり大地に固定されています。そしてこれにまたがる恰好で車輪がこの桁を両側からしっかりととはさむ構造ですから、風速60mでもびくともしません。ただ、安全運行の為にきまりがあって、風速25m以上になるとモノレールの運転は中止して、駅や車庫で待機することになっています。

普通の電車と違うところはどんなところですか

中本 基本的には同じです。違っているところはモノレールには信号機がありません。また、普通の電車は屋根の上の架線を支える門型柱が必要ですが、モノレールは、レール横側のトロリー線から電気を取りますので柱や電線が見あらず、視界が良いのが特長です。それに、故障や障害物があると指令室よりテレビに表示、危険を知らせてくれるコンピュータ制御

システムにより安全を図っています。この点はJR新幹線と似ています。

特にすぐれているところは?

茂岡 まず踏切がないこと。左右からレールをはさむ構造ですから、普通の電車では危険な急カーブや急な坂でも走れる安全な乗り物です。さらに車両を支える部分の構造が電車に比べて簡単なので建設費が安くなります。またはゴムタイヤで走行するためたいへん静かで、周辺に与える影響が少なくなっています。

どの位の速さで、どこからどこまで走るのでか

中本 時速75kmです。大阪国際空港から南茨木まで13.7kmを21分で走ります。このうち、千里中央から南茨木まで65年春を目標に、6.8kmが先に開業予定。全線開業は、68年春になる予定です。その後も南茨木以南への延長が計画されています。

今日はいろいろと教えていただいてありがとうございました。正事はたいへんだと思いますが、お体には十分気をつけて事故のないよう頑張ってください。

最後にこのインタビューにあたり、大阪高速鉄道株の米田次長にたいへんお世話になりました。取材スタッフ一同より、厚くお礼申し上げます。



インタビュー
吹田市立
東佐井寺小学校5年
三谷友彦君

インタビュー
吹田市立
東佐井寺小学校5年
永野由加里さん